

「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」

愛知県豊田市立寿恵野小学校

23学級 664名

1. ねらい 「みがき残しのない歯みがきが実践できる子の育成」

2. 取組の概要

(1) 学年に応じた歯みがきスキル指導

学年の発達段階と、その年齢層における歯の特性を考慮した歯みがき指導を行った。6月の学校公開日に歯科衛生士を招き、「歯科講習会」を3年と5年で行った。親子で真剣に染め出し検査を行う様子が伺えた。さらに、9月と1月の身体測定時には、養護教諭が、「歯ブラシチェック」と「歯みがき指導」を全学年に行った。



3年 「歯科講習会」



5年 「身体測定時の歯みがき指導」

(2) 学校歯科医との連携

学校歯科医によるGOの児童を対象にした個別指導を継続して行っている。ここでの指導内容は、保護者へも知らせ、家庭との連携を図っている。一定期間の後、指導されたことが続けて実践できているかを把握するために、養護教諭による個別指導を行っている。

(3) 栄養教諭との連携

栄養教諭を招いて、全学年食育指導を行っている。今年度は、内容を見直し、「軟らかい食物や砂糖の摂取は歯垢が付着しやすいため、みがき残しのない歯みがきが大切であること」や「かむことを意識した食生活も歯・口の健康づくりには欠かせないこと」など、食育と歯科保健を関連付けた指導を心がけた。



4年 「食育指導」

(4) 家庭との連携

長期の休みには歯みがきカレンダーを作成し、家庭で1日3回歯みがきを行うように働きかけた。保護者と一緒に歯みがきの方法を考える機会として、6月と1月に染め出し用綿棒を配付し、家庭で歯みがきチェックを行ってもらった。提出された記録用紙には、親子で話し合った様子やそれぞれの家庭で考えられたみがき方などが記入され、各家庭で積極的に歯・口の健康づくりに取り組む様子を伺うことができた。